

土浦市長 中川 清 殿

土浦市議会議長 海老原 一郎

平成29年度 第1回 議会報告会の結果報告について

本市議会においては、土浦市議会基本条例第13条に基づき、平成29年5月9日・10日に市内2会場で「平成29年度第1回議会報告会」を開催いたしました。

2日間で100名の市民の方々に参加していただき、市政等に関する様々なご意見、ご提言をいただきましたので、土浦市議会議会報告会実施要項第9条第3項に基づき、行政に対する要望・提言等で重要なものについて報告するものです。

つきましては、当該提言等の趣旨、内容等をご検証の上、今後の市政運営にご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 工業団地の造成について

新図書館の建設や野球場の改築など大規模な事業が続くので、市の財政は大丈夫なのか。将来的な土浦市の財政を考えた場合、歳入の面を考えなくてはならない時期に来ているのではないかと思う。歳入を得るために工業団地を造成して、優良企業を誘致してはどうか。

2. シティプロモーション事業について

シティプロモーション事業について、インターネットで観光・物産、ご当地弁当の作り方などを紹介しており、内容は素晴らしいものだがアクセス数がまだまだ少ないと思う。ネット上にアップしただけで満足するのではなくアクセス数を伸ばすなどの施策が必要と思う。

3. つちまる学習塾について

つちまる学習塾の利用者を増やすために、開催地区の拡大と、こども食堂を兼ね合わせたらどうかと思う。また、講師には各地区に住んでいる学校長OBの方々の人材を活用するなど、さらなる充実を図っていただきたい。

4. 公立保育所の民間導入について

公立保育所の民間活力導入事業については、全ての保育業務を任せるのではなく、市としても責任をもって管理していただきたい。

5. 保険料について

ジェネリック薬品を使って保険料を抑えるように「ジェネリックの都市土浦」でPRしてはどうか。

6. 農産物ブランドアップ事業について

市が検討している農作物ブランドアップ事業は、名産品のレンコンや花などに特化したブランドではなく、いろいろなものを土浦市のブランドとするような考え方が見える。全国に誇れるものを一つか二つに特化して商品を絞り込んでこの事業を推進していくべきではないか。

7. 公共交通機関について

高齢者一人で荒川沖に住んでいるが、最近、免許証を返納したため買物に行くのも不自由である。特に、国道6号線を経由して土浦駅まで行くバスが無いため、大変不便を感じている。キララバスのようなバスを荒川沖から走らせる事はできないか。

8. 市民ギャラリーについて

県の近代美術館が改装工事を行うことに伴い、市民ギャラリーなどを使いながら移動美術館を開催するとの案内がきた。新図書館にできる市民ギャラリーでも見れるように県と連携をしてほしい。